

令和2年度 第12回 理事会議事録

日時：令和3年3月23日（水）19：00～20：20

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、名取、菊池、
古屋、北山、井村、大西、鈴木、有泉
(部長) 秋山、秩父、小林(泰)

書記：笠井

会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数133

会員数902名(施設842名 自宅60名)

I. 審議事項(全2題)

1. 総会前の活動開始及び予算執行について:オリパラ
スポーツ委員会(小尾委員長、代読:有泉局長)
オリンピック、パラリンピックについてはこの夏開
催を前提に動いており、当士会から9名の会員がス
タッフとして活動する予定である。本番に向け研鑽
の場が必要であるため、総会前ではあるが新年度か
らの活動開始及び活動費としての予算執行について
承認を頂きたい。施設の方針で対面研修や外部研修
に制限がある者が2名おり、その2名は小尾委員長
が個別でチェックに行くことで可能となった。その
他については健康チェックとマスク・手洗い・消毒な
どの感染予防対策をしたうえで、10人以下なら実施
可能な施設が2施設あったのでその施設で行う予定。
4月中旬または下旬から月1回で計4回行う。日程が
決まったら、所属長、および施設長に依頼を出す。予
算は1回30,000円で4回120,000円程度を予定して
いる。1名の部員が施設で許可が得られず、オリパラ
参加(対外活動)禁止となり計9名の部員が参加予
定。

質問・意見

磯野：予算についてはよいと思う。県士会で責任はと
れないので、必ず所属長の許可を得た中で実施
できるのであればよいと思う。

結果

承認をする。

2. 総会前の活動開始について:社会局スポーツPT部(古
屋局長)
スポーツPT部では4月1日より各帯同チームへの活
動を開始することになる。総会前での士会活動であ
るため、理事会にて了承をいただきたい。
審議資料の訂正:「日本航空高校卓球部」が記載して
あるが、昨年で終了しているため消去する。

質問・意見

磯野：各学校からは依頼文書や感染予防に対する文
書が出されているのか？
古屋：依頼文はあるが、学校側で感染予防について対

策を講じている内容の文書はない。スポーツPT部か
らは、感染予防に関する対応を提示している。

結果

学校側はスポーツPT部の感染予防に関する対応に
賛同して了承をしているのか、確認をしてもらう。次
年度の活動として承認する。

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

①選挙管理委員会

半田会長は理事に立候補していないので、会長を退
くことになる。

②50周年記念事業実行委員会(三科実行委員長)

○記念誌祝辞執筆の依頼文について

相談役の先生には見てもらい修正しているが、理
事の先生方で修正等の御意見があれば連絡を頂
きたい。

○企画について

ライブ配信については会場にて業者対応が可能
となった。4月の方針内容により開催方法の検討、
依頼をする。

磯野：今年度50周年を開催する他県士会の企画
内容はどうする予定であるか把握した方
がよいと思う。

三科：他県士会に連絡をして確認をしていく。

○ポスターについて

2パターン作成し提示したのでご意見をお願いし
たい。写真の肖像権については問題にならないよ
うに、会長より十分に配慮するように指示を受け
ている。

○講師選定について

有力候補として、「左手一本のシュート」の著者で、
バスケットボール競技者である中央市在住の田中さん
を考えている。リハビリの体験や活躍した経緯などを
話していただけるのではないかと。

高村：講師を田中さんに選定することは問題ない
が、実際のリハビリはOTを実施している。

三科：講師の選定について再度検討していく。

○関東ブロックの各士会への文書について

有泉：事務局宛てと会長宛てに、それぞれ別で文
書を送ってもらえるとよい。

○協賛金の依頼文書の発症について

有泉：3月を予定していたと思うが、いつごろ発
送になるか。

三科：来月の理事会の判断を待ってからとなる予
定。

③災害対策委員会(小林司副会長)

研修会を3月12日にオンラインで実施した。宮城県
士会から坪田先生を講師に招聘し、東日本大震災で
の活動内容、今後の対策、課題等の内容をご講演いた
だいた。参加者は77名だったが、PTは21名と少な

かった。

④働きやすい環境創り検討委員会（小林司副会長）

2月22日に関東甲信越ブロックの各士会担当者、関ブロ講義会、女性理学療法士の会の担当でオンライン会議を実施した。どの士会においても今年度は活動が停滞している様子であったが、神奈川県では職場環境創りとして助産師会との協働活動を開始したり、埼玉県では士会費の育児休業割引（全額）を導入するなどの取組を行っている報告を受けた。

2. 部・局の報告

① 社会局委託事業部：介護職場人材育成研修について実施報告（古屋局長）

日時：2月17日、3月3日 9:30～12:30

派遣講師：杉原大輔 先生（白根徳洲会）

今井英樹 先生（湯村温泉病院）

テーマ：理学療法士から学ぶ自立支援～運動や体操、病気の特徴を活かした介助方法について

参加者：4名

② 社会局委託時業部：2021年ダイハツ工業健康安全運転講座について（古屋局長）

山梨ダイハツ販売株式会社より来年度の開催依頼の連絡がきた。

日程、開催場所：6月8日甲府店、6月11日富士吉田店、9月7日甲府店、9月15日富士吉田店

派遣講師：舟久保先生（健康科学大クリニック）

市川委託事業部長、古屋局長

今年度は開催見合わせたが、来年度は感染対策を行い講義を中心に実施する方向で返答した。

③ 社会局スポーツ PT 部：活動報告（古屋局長）

常勤トレーナーを確保したため、山梨学院大学女子サッカー部の対応は修了。

部員数が3名減により、来年度は16名での活動となる。3月17日に部内研修を実施した。

④ 企画局企画研修部：令和2年度企画研修部研修会について実施報告（井村局長）

日時：3月12日 19時～21時

講師：田村外科病院 高橋浩平先生

テーマ：「リハビリテーション栄養と理学療法について」～臨床におけるリハ栄養への関わり方～ オンライン研修

参加者：46名

⑤ 企画局公開講座部：フレイル予防のチラシ配布について（井村局長）

公開講座が中止となったため、フレイル予防のチラシの配布を今月28日（日）に甲府市内を中心に6万枚配布することとなった。

チラシをHPに掲載することについては、甲州リハの中込先生に相談して掲載してもらう。

⑥ 学術大会局合同学術大会部：第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会運営会議内容について（菊池局長）

名称後援団体一覧の掲載順についてご確認いただきたい。一般演題数20演題を4会場に分けて実施。教育講演は5つ。座長を決定した。

⑦ 福祉厚生局地域連携部：第21回地域理学療法研修会の報告（鈴木局長）

3月26日、オンライン研修の開催予定。

「コロナ禍により低下した生活能力を高めるために」をテーマに、通所リハの事例を共立の塩田先生に講演してもらう。講演後、グループワークを実施する。参加申し込み者は現在14名。

3. その他

① 地域リハビリテーションの体制について（鈴木局長、磯野副会長）

3月10日に中北地域リハビリテーション連絡会に参加した。地域リハビリテーションの体制が変わり、広域支援センターが今年度いっぱいその制度が廃止となる。今後は県に1病院がリハビリテーション支援センターとなり、県の委託を受ける。市町村と包括が地域の支援団体の連携をとり、上手く対処できない場合は、支援センターがバックアップすることとなった。広域支援センターを受ける病院がないことが要因であると思われる。

② 山梨県循環器病対策推進計画策定協議会及び山梨県在宅医療連携推進協議会について（磯野副会長）

山梨県循環器病対策推進計画策定協議会が、来年から設置されることとなった。山本 OT 会長が委員として推薦された。

山梨県在宅医療連携推進協議会の代表として PT 士会から磯野先生、OT 士会から久保田先生、ST 士会から赤池先生が選出された。

III. 事務管理局から（有泉事務局長）

1. 決算について

締め日は3月31日だが、事業終了後は速やかに財務部に報告・資料提出をお願いしたい。併せて過日、問い合わせをした士会通帳の所在の報告もお願いしたい。

2. 事業報告・事業案について

可能な限り早く総務部への提出をお願いしたい。

3. メール配信について

3月21日までの件数で、重複している方もいるが全部で576名の登録があった。まだ、300名ほど登録がないので職場のスタッフに声掛けをお願いしたい。

4. 財務（入倉財務部長）

明日、明後日で通帳の回収をしたいので、希望する場所と時間を今日中に連絡をいただきたい。3月に源泉徴収が発生しているところがあれば、今月内に納税

したいので早めをお願いしたい。

IV. 次回の理事会日程について

日時 令和3年4月27日(火) 19:00～

場所 Web会議

連絡 4月23日(金)までに審議事項および資料を
事務局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務局へ連絡する。

* 次回は活動報告、決算案などを含めた資料の確認を年度末監査に向けて実施する。6月中旬に総会、6月最終(火)に拡大理事会を予定している。